カリキュラム区分	現行カリ	シラバス区分	専攻科

科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
助産学基礎領域	S106	1年	前期	助産学専攻科	必修	国際助産活動論 International Midwifery Activities	15	1

担当教員					
中越　利佳	尾上　智子				

関連するDPキーワード	
○	① 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。
○	② 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。
○	③ 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。
	④ マタニティサイクルにある対象の個別性を尊重し、対象のもつ力を最大限にひきだすための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる
	⑤ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。
	⑥ 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。
	⑦ 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。

授業目的

世界各国の母子保健の現状と課題、出産・育児の文化を理解し、異文化の対象者への助産師の支援と役割について理解できる。

到達目標（授業目標）

①　母子保健の現状と課題、妊産婦の健康に関する世界の潮流と戦略について理解できる。
②　異文化理解と多様性を尊重するために必要な視点を理解できる。
③　諸外国の文化や生活環境を知り、それぞれの国における母子保健活動および助産活動を理解できる。
④　在日外国人妊婦のアセスメントと支援についてグループワークを通して説明することができる。
⑤　グローバル社会における助産師の役割を説明することができる。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	国際社会と母子保健：我が国の国際化と母子保健の現状と課題、開発途上国の母子保健の現状、妊産婦の健康に関する世界の潮流と戦略 [中越]
2回	異文化を容認する：フィールドワークからみた異文化理解と多様性の尊重　[尾上]
3回	世界の中のリプロダクティブヘルス／ライツとジェンダー：国際的に合意されたリプロダクティブヘルスに関する目標と進捗 リプロダクティブヘルス／ライツとジェンダー　[中越]
4回	世界の出産と文化　貧困と出産：世界の出産と文化（文献購読）、貧困と出産（ＤＶＤ視聴） 妊娠・出産・子育てをめぐる文化的・社会的・民族的背景について　[中越]
5回	異文化尊重と融合：異文化を受け入れ、異文化の人との融合を図るためのシミュレーション体験（クロスロードゲーム）　[中越]
6回	在日外国人妊婦の助産援助：在日外国人妊婦の出産に関する異文化の理解、在日外国人妊婦の支援　[中越]
7回	在日外国人妊婦の助産援助：在日外国人妊婦の出産に関する異文化の理解、在日外国人妊婦の支援　[中越]
8回	在日外国人妊婦の助産援助：在日外国人妊婦の出産に関する異文化の理解、在日外国人妊婦の支援　[中越]
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	

14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準
レスポンスカードの記載内容（40%）、プレゼンテーション内容の完成度（60%）によって評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	なし
参考図書等	松岡悦子・小浜正子「世界の出産」（勉誠出版） ユニセフ「世界子ども白書」http://www.unicef.or.jp/library_sry.html プルミエール-私たちの出産（DVD） 徳永瑞子、内海博文　　国際看護学　（クオリティケア） その他、講義時に適宜紹介する。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）
グループワークの進行状況に応じて授業時間外学習となる場合がある。

関連科目										
前科目	S101	助産学概論								
後科目	S115	ウィメンズヘルスケ								

実務家教員						
助産師（医療機関）	中越　利佳					

備考	講義開始までにプルミエール（助産実習準備室より貸出可）を視聴しておくこと。 ユニセフのWEBから世界子ども白書（2020）を各自入手しておくこと。